

悪さは「しようがない」と思っている。「政治は誰がやっても同じだと諦らめていいるから、棄権する人が多いのだろう」と語っていた。四〇代前半で奥さんと子ども二人の四人暮らし。二間で一三畳、一万七、〇〇〇円の家賃を支払っている。沖繩の出身で「都会の生活はきびしい」と感じていいる。

選挙に棄権しがちな人、あるいは行政に接触しない人たちは、ややもすれば一まとめにして無関心層と呼ばれることが多いが、このYさんたちの場合を、政治や行政に無関心といい切ることができるかどうか。

5 「環境を守る」人たち

中年以上、持家 生活環境が公害などの原因で悪くなってきた時、地元の人と力をあわせて環境に高い意識 境をよくしていきこうという気持ちになる

れるかどうか(表21)。有権者の約八割はそういう気持ち

表-21

このあたりの環境が公害などの原因で悪くなってきた時、あなたは地元の人と力を合わせて環境をよくして行こうという気持ちになれそうですか。それとも、そういう気持ちにはなれませんか。

1. そういう気持ちになれる→SQへ 79.5%
2. そういう気持ちになれない 5.9%
3. 時と場合による 12.8%
4. その他 0.7%
5. わからない・答えない 1.1%

SQ [1と答えた人に] それではあなたの身近に公害などの問題で運動を起こそうという話が出て来た時、あなたはどうしますか。この中にありましたらひとつだけあげて下さい。

1. 自分からすすんで運動を起こす 14.2%
2. 時間的余裕があれば参加する 43.4%
3. あまり拘束がきつくなければ参加する 14.6%
4. 近所の人にさそわれれば参加する 25.1%
5. 運動を起こすことも参加することもしない 1.4%
6. わからない・答えない 1.3%

[48年2月、都市研調査]



市民の行政への距離

ちになれると考えている。そのうち「自分からすすんで運動をおこす」という人は一四％ある。もちろん、現実には何らかの問題がおきた時には、住民はその状況に応じてさまざまな対応をするのであるから、一率にこのような数字を前提として住民意識を論じることができないのはいうまでもない。だがそれはともかく、そういう気持ちになれると答えた八割の人たちの年齢は、中年以上の比率が高く、持家住まいの人が多い。

つぎに、住民と役所のあいだでおこる公害や環境問題での紛争は、なにが原因になるのであろうか。この種の紛争は多くの場合、複合的な要因がふくまれているので、ひとつだけの理由を選ぶことには無理がある。しかし、一応そうしたことを念頭においた上できいてみると、「すすんで環境を守ろうとする住民の気持ちが強くなったため」と答えた人が三四％でもっとも多く、これに「地域エゴの風潮が強くなったため」の二八％をあわせると、六割強の有権者が住民の権利意識に関係した見方をしている。これに対して「これ

表-22

全国各地で鉄道や高速道路やゴミ焼却工場の建設などをめぐって、住民と役所のあいだに、いざこざが起っています。一般的にみて、こうしたいざこざは何が原因で起ると思いますか。つぎの中からあなたのご意見に近いものを1つだけえらんでください。

1. これまで役所が住民軽視の計画をたててきたため 15.3%
2. すすんで環境を守ろうとする住民の気持ちが強くなったため 33.6%
3. 地域エゴの風潮が強くなったため 28.2%
4. その他→(〔記入〕_____) 1.2%
5. いちがいにいえない 11.9%
6. わからない・答えない 9.8%

[48年11月、都市研調査]



横浜の私たち

までの役所が住民軽視の計画をたててきたため」という人は一五%あった。女性は男性にくらべて「地域エゴ」とみる割合が低く、その分「役所の住民軽視」や「住民の環境意識」をあげた人の割合が高くなっている。また、学歴が高くなるにつれて「いちがいにいいない」「わからない」という人の割合が少なくなり、それとは逆に、「役所の住民軽視」と「住民の環境意識」をあげる人がそれぞれ多くなっているが、このいづれかに強く傾くということとはなかった。

女性に強い拒否反応
 それでは、かりに自分の家の近くに、高速道路かゴミ焼却工場をつくるという計画を知ったらどうするか。こうした問題を

「たとえばの話」としてきいた回答と、現実と直面した場合の行動とのあいだに相異があるのは当然だが、「どちらにも反対する」が三割強の三六%で、これが最高。ついで「公害を防ぐように役所と交渉する」が二六%、「ゴミ焼場は考えてもよいが、高速道路は反

表-23

かりにお宅の近くに高速道路かゴミ焼場を作るという計画があることを知らされたら、あなたはどうしますか。

1. どちらにも反対 35.5%(23.3)
2. ゴミ焼場は考えても良いが、高速道路は反対 16.0%(12.1)
3. 公害を防ぐように役所と交渉する 25.8%(36.0)
4. 何もしない 5.5%(4.7)
5. 協力する 10.9%(9.7)
6. その他（〔記入〕_____） 2.5%(1.2)
7. わからない 3.6%(12.2)
8. 答えない 0.2%(0.8)

SQ[1, 2と答えた人に] どんな方法で反対しますか、次の中から1つだけ選んで下さい。

1. 近所の人達と反対運動を起す 25.7%(19.9)
2. 反対運動が起これば参加する 24.8%(27.6)
3. 自分で役所へ交渉に行く 2.3%(3.4)
4. 市議員や政党などに相談する 4.0%(7.1)
5. 町内会の役員に相談する 13.2%(17.7)
6. まわりの動きに従う 25.7%(18.0)
7. その他（〔記入〕_____） 1.1%(0.6)
8. わからない 2.5%(1.9)
9. 答えない 0.6%(3.7)

注：カッコ内の数字は、48年調査の割合である。

[48年11月、49年4月、都市研調査]



対」が一六％、「協力する」は一一％、という傾向である。全体的にみると、高速道路に反対する人は、有権者の半数以上を占めている。

「どちらにも反対」は女性の方が男性よりも強く、年齢別では四〇代が最高(四〇％)。ついで五〇代、六〇歳以上の順位となり、中年以上の人に環境を守る気持ちの強いことが目立つ。これに対して、三〇代は「公害防止を交渉」、二〇代では「なにもしない」の割合が、それぞれ高い。居住感との関係では、現住地が「住みにくい」とマイナスの評価をしている人が、高速道路やゴミ焼却工場の建設に拒否反応を強く示しており、「住みよい」とプラス評価をした人では「公害防止を交渉」に傾いている。

高速道路やゴミ焼却工場の建設に反対する気持ちの人たちには、住民と役所との紛争の原因について、役所にきびしい見方をする人の割合が高く、またいまの横浜市役所を「お上」とみる割合も多い。つまり、環境を守る気持ちが、どのような具体的行動に発展する

表-24

「一般に市役所など自治体の役所は、住民の上になつてお上(かみ)といった感じが残っている」という意見と、「そうではなく住民の生活を守るところといった感じになってきた」という意見があります。あなたは、いまの横浜市役所については、どちらの意見に近いですか。

1. お上といった感じが残っている 27.8%
2. 住民の生活を守るところといった感じになってきた 36.2%
3. どちらともいえる 9.9%
4. どちらともいえない 13.3%
5. その他 1.0%
6. わからない 11.2%
7. 答えない 0.7%



横浜の私たち

栗田谷地下鉄設置に反対する会	飯田六次	神奈川区栗田谷64
公害高速2号線反対 住民団体連絡協議会	長瀬弘	南区山谷15
高速道路花見台線に反対する会	石渡次郎	保土ヶ谷区岩井町264
高速道路三ツ沢線反対期成同盟	山田雄造	西区南軽井沢5
谷津坂地域高速道路建設反対連合町 内会	田村伸夫	金沢区西芝1-65
新在田住民環境保全期成同盟	田中方臣	緑区荏田455-2
美しが丘生活環境を守る会	大塚清	緑区美しが丘たまプラーザ 団地4-22-15

注：この他、「マンション建設に反対」などの日照問題は、昨48年度中に、市内で261件の陳情書が提出されている。

● 公害関係

横浜新貨物線反対同盟連合協議会	八木貞太郎	港北区仲手原2-30-2 宮崎方
横浜新貨物線公害対策松見協議会	持丸一義	神奈川区松見町1-14
大倉山地区新幹線公害対策同盟	古郡一太郎	港北区太尾町107
生ゴミ投棄に反対する会	高岸義一	緑区東本郷町168
鶴見会友友情の会	内田近蔵	鶴見区平安町1-58-8
横浜洗剤を考える会	小山黎	緑区美しが丘たまプラーザ 団地4-8-203
神奈川薬害を告発する被害者と市民 の会	古賀照男	神奈川区子安台1-9-7 水野方

〔以上、市民局市民相談室調べ〕

● 消費生活関係

横浜コンシューマーズクラブ	小野信寿	神奈川区子安台2-7-15 忠内真須美方
横浜市消費者の会	谷口マサ子	鶴見区岸谷1-19-15
横浜消費生活研究会	久保静江	旭区市沢町704
横浜市婦人団体連合会	沢智勢子	西区紅葉ヶ丘2
横浜市婦人団体連絡協議会	広瀬美弥	中区港町1-1 横浜市役所教育委員会社会教育課
神奈川県生活協同組合連絡会	岩堀三邦	中区山下町255-1 労働福祉センター内
横浜市食生活等改善グループ連絡協 議会	今泉知子	南区中里町316
栄養改善普及会神奈川誌友会横浜グ ループ	服部孝子	中区本牧満坂187
横浜市生活学校連絡会	山口定子	鶴見区東寺尾町2037
ベターホーム協会横浜南支部	田中雅子	旭区鶴ヶ峯2-58
ベターホーム協会横浜中支部	島田鳳子	神奈川区幸ヶ谷町27
横浜友の会	奥本民代	磯子区森ヶ丘2-25-15 横浜友の家
神奈川県漁業協同組合婦人部連絡協 議会	長塚八重	中区太田町1-15 神奈川県信 用漁業協同組合連合会内
神奈川県農協婦人部協議会	中島ミサ	中区海岸通1-2-2 神奈川県農業協同組合中央会
神奈川主婦同盟	若松千代子	中区南仲通り4-40小島ビル内
神奈川県農家生活改善グループ連絡 協議会	露木文子	中区日本大通り1 神奈川県庁農業技術課内
横浜・川崎農家生活改善グループ連 絡協議会	石川タエ	緑区三保町2076 神奈川県横 浜農業合同庁舎内

〔経済局消費経済課調べ〕



団体名

連絡先(代表者の敬称略)

● 福祉・医療関係

神奈川県心身障害者父母の会連盟	宇井 儀一	神奈川区沢渡12 神奈川県社会福祉会館内
横浜市精神薄弱者育成会	渡辺 利勇	保土ヶ谷区常盤台296
横浜市肢体不自由児父母の会連合会	酒井 喜和	港北区下田町77-1 日吉団地54-305
横浜市障害児を守る連絡協議会	高橋 将	戸塚区中田町3377-7
横浜市言語障害児を持つ親の会	大野 俊子	神奈川区六角橋5-24-14
神奈川県自閉症児親の会	三井 喜晃	神奈川区西神奈川2-35
子どもたちの未来をひらく父母の会	飯田 進	小児療育相談センター内 同上
神奈川県進行性筋委縮症 ジストロフィー協会	大野清次郎	戸塚区小菅ヶ谷住宅2-310
神奈川県ヘモフィリア(血友病)友の会	小幡 寿男	戸塚区矢部団地20-104
全国心臓病の子どもを守る神奈川連 絡会・横浜地区	石綿 トヨ	港南区大久保町41
神奈川県ぜん息児親の会	田村 綾子	保土ヶ谷区初音ヶ丘37
神奈川県視覚障害児をもつ親の会	岩屋 安芳	鶴見区下の谷町4-172
日本脳性マヒ者協会 「青い芝」神奈川県連合会	横田 弘	磯子区中原町1-8-1-106
横浜市被爆の会	藤井 弘子	神奈川区稲荷町13
神奈川県患者同盟	津島 邦男	戸塚区戸塚町98
ひかりが丘身体障害者福祉協会	大竹 秀司	旭区上白根町795

● 学校・図書館・公園・保育所関係

富岡地区県立普通高校をつくる親の会	柴 牧子	金沢区富岡町2761
美しが丘地域に公立図書館をつくる会	角田 菊雄	緑区美しが丘2-27-42-106
日吉に図書館をつくる会	岩崎 恭子	港北区日吉本町2065 日吉マンション
戸塚区に図書館をつくる会	大島 慧子	戸塚区上倉田町865-3
よこはま文庫の会	長崎源之助	南区井土ヶ谷152
地域巡回文庫わかめ	簡 照子	鶴見区獅子ヶ谷995
緑区しらとり台住民総合センターを つくる会	佐々木 敏美	緑区青葉台2-33-2 青葉台マンション13-103
岸根を早く公園にする会	長谷川 雷助	神奈川区六角橋5-3-18 伊藤方
岸根に子ども文化センターをつくる 連絡会	山崎 亀能	神奈川区六角橋5-35-13

注: この他「〇〇に保育所をつくる会」「〇〇保育園父母の会」など保育所建設運動は市内で約20団体で活動中。

● 開発関係

金沢の自然と環境を守る会	飯田 耕作	金沢区富岡町1988
金沢地区埋立反対期成同盟	宮本 松蔵	南区六ツ川31-41-1
横浜の緑と文化財を守る会	久保田 憲治	緑区十日市場1296-1137
港北の文化遺産と自然を守る会	藤木 久志	緑区長津田町1613 岩城方
小規模宅地所有者の会	岸田 秀男	港北区南山田町4590-22
祖先の土地を死守する会	織 茂 富雄	港北区南山田町4523
大倉山の自然と環境を守る会	斉藤 甚一郎	港北区大曾根町584
横浜新横浜地下鉄路線反対同盟	阿久沢 正三	神奈川区六角橋5-6-4
環境と権利を守る会	只井 吾平	神奈川区六角橋6-30-13 神取方



横浜の私たち

かは、行政に対する信頼感の問題とも関係しているといえそうである。

住民運動と消費者運動

こうした市民の環境を守る気持ちと複雑な都市問題とがからみあって、横浜には多くの住民運動がうまれていく。それら多くは、従来からの町内会や自治会とは別の組織で、また多少なりとも行政への不信感をもって動いているのが特徴である。

住民運動が要求する内容は多様であり、運動の対象も国・県・市・企業などさまざまであるが、市内で活動している住民運動のなかで、四十八年度に横浜市役所市民相談室と接触した団体、ならびに経済局消費経済課でまとめた消費者団体は表25のようなものである。